

暖かい春の日差しを浴び、万物に精気みなぎる今日の佳き日、PTA 会長 湯崎俊彦様をはじめ、本校に縁のある多くの方々のご臨席を賜るとともに、保護者ご家族の皆様のご列席のもと、広島市立基町高等学校第67回入学式を盛大に挙行できますことは、本校にとってこの上ない慶びであり、深く感謝申し上げます。

ただいま、入学を許可しました361名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員と二、三年生の生徒は、皆さんの入学を心より祝福し、歓迎します。

皆さんは、厳しい入学者選抜を突破して、基町高等学校に晴れて入学しました。本校は、これまでに2万5千名を越える卒業生を輩出し、前身である広島市立中学校出身者を含め多くの同窓生が各界で活躍されている伝統ある高等学校です。平成11年からは、普通科普通と創造表現コースが車の両輪となって、お互いに刺激しあい切磋琢磨して成長し、多くの実績を積み上げてきました。また、本校の校舎は、被爆100年、すなわち2045年の広島において都市を構成すべき重要な建築物の一つとして、広島市の「ひろしま2045：平和と創造のまち」(略称P&C)事業の指定を受けて作られたものです。その意味でこの校舎は平和のモニュメントでもあり、広島市民の願いを表したものです。

したがって、本校で学ぶ生徒には、伝統を受け継ぎ発展させると同時に、それぞれが持つ能力を最大限に磨いて、将来、広島や日本、ひいては人類の幸福に貢献するという大きな期待と責任がかけられています。

今、日本は厳しい国際競争にさらされ世界経済におけるかつての地位を失いつつあります。また、成熟社会への転換を迫られ、多くの課題に直面しています。さらに世界に目を向けると、地球温暖化、人口増加、食糧、資源エネルギー問題など、人間の存在、そして多くの地球に生きる生物の存亡にかかわる問題があります。世界中の人々が、それぞれの専門領域を超えて、知恵を出しあって解決の道を探らねばなりません。その主役は、皆さんです。時代の転換点で変化を起こし、新しい社会を構築してきたのは、いつもその時代の若者たちです。既存の価値観にとらわれることなく、自由で柔軟な思考力によって、革新的な価値を創造できる若者が今こそ必要なのです。その期待に応えられる人物となるため、3年間の高校生活を通じて、次の2つのことを実践してください。

一つ目は、それぞれの適性を発見し、将来、自身の力をどのような分野で活かしていくかを考え、高い志を立てることです。皆さんは、生まれてから15年あまりたちますが、自分自身のことをどこまで知っているでしょうか。皆さんには、まだ自分自身でも気付いていない能力や適性があります。自分の可能性を過小評価したり、固定的に捉えたりするのではなく、苦手と思い込んでいる分野をはじめ、様々な学問や芸術文化、そしてスポーツに、全力で取り組んでください。そうすることで初めて、自らの本当の姿や能力を発見することができます。また、それは幅広い見識や教養を身につけることにも繋がり、将来、独創的な価値の創造をなすためになくしてはならない基礎となります。

このように、自分自身を真摯に探求していけば、その過程で自分の力を活かすべき分野や将来の目標が見えてきます。自己の利益のみを追求する目標は「志」とは言えません。社会や人類のために自分の命を活かす高い志を立ててください。その「志」は、必ず皆さんの命を輝かせるとともに、結果的に皆さん自身に何よりも大きな喜びと幸福をもたらします。

二つ目は、その「志」を実現するために、今、どのような力を付けるべきかを考え、粘り強く自分を鍛えることです。高度経済成長期には、「マニュアル通りにまじめに働く人」が、大勢いて社会が成り立ちました。しかし、現代ではどの職場でも、潜在している問題

をいち早く発見し、状況変化に即応して、問題解決に向け主体的に行動できる人を必要としています。それにはマニュアルはありません。さらに時代は、グローバルな視点と知的創造力によって、人類の持続可能な発展に繋がる新発見や新技術、新サービスなどの新しい価値を生み出す独創力のある人材を求めています。したがって、皆さんがこれから行うべき学習は、効率よく理解できるように他人が加工してくれた教材を記憶するといった受け身の学習ではありません。学習の結果だけを鵜呑みにしたり、マニュアル的な答えの出し方のみを習得したりするのではなく、成り立ちや背景を探り、自ら思考して理解し探求していくことが重要です。中学校までとは異なり、学ぶ内容も高度になり、量も格段に増えます。一日も早く、基町高校生らしい学習態度を身につけ、工夫を重ねて自分に合う学習方法を開発してください。

また、現代社会の複雑な課題の解決には、決まった正解はありません。一人の天才的な人物ではなく、様々な分野の専門家がチームを作って課題に取り組み、よりふさわしい解を探っていくことが求められます。本校には数多くの学校行事があり、また、ほとんどの生徒が部活動を行っています。社会に出てリーダーとなる人材をめざし、学校行事や部活動を通じて、コミュニケーション能力や協働する力、そして何よりも優れた人格を養ってください。

グラウンドの東端にキックボードが建っています。そこには本校の校訓「自主自律」、サブモットー「継続は力なり」という言葉が書いてあります。独創的な建築で有名な安藤忠雄氏は「独創力とは、孤立することを恐れない個人に根ざす。なによりまず他に依存しない個人を確立しなければならない。」と述べておられます。校訓「自主自律」とは、他に依存しない個人を確立し、孤立を恐れず先頭に立つ勇氣を持つことを意味します。高い志は、自主自律を促すとともに、粘り強く努力を継続する力ともなります。大きな志に向かって真摯に努力を続ける人には、初めはたとえ孤独でも、いつか必ず支援してくれる仲間が現れます。壁にぶつかっても、あきらめず、仲間とともに頑張れば、必ず乗り越えることができます。本校での密度の濃い三年間を信頼できる仲間とともに過ごし、生涯の宝となる友情を育んでください。

基町高校のシンボルの樹木は、梧桐（あおぎり）です。校章にも、桐の果実と葉がデザインされています。この梧桐には古来、めでたい鳥である鳳凰がつねに来て宿り、その葉につつまれた実をついばんでいよいよ気高くなるといわれています。鳳凰は、知性と品格を備えた素晴らしい人物、社会を導くリーダーを象徴しています。皆さんは、この桐茂る学園で鳳凰となっていく人たちです。今はまだ、雛かもしれませんが、卒業時にはたくましい鳳凰の若鳥となって、巣立っていくことを願って止みません。

終わりにになりましたが、今日まで、新入生を様々な面で支えてこられた保護者の皆様に心からお祝い申し上げます。私たち教職員は、一丸となって指導にあたり、お子様の高い志の確立とその実現に全力を尽くし、誇りを持って高校生活を送ることができるよう努めて参ります。保護者の皆様におかれましても、本校教育にご理解とご協力を賜りますとともに、ご家庭でもお子様が充実した学校生活を送るために必要なご指導をいただきますようよろしくお願いいたします。

結びに、本日ご臨席賜り、新入生の前途を祝福していただきましたご来賓の皆様、そして、ご列席の保護者ご家族の皆様に再度、篤くお礼を申し上げ、式辞といたします。

平成二十五年四月九日

広島市立基町高等学校
校長 荒木 猛